

# ESD通信 No. 20 平成29年9月1日発行

— ふるさとを愛し未来を拓く子の育成をめざして —



新居浜市一宮町一丁目5番1号 学校教育課  
tel (0897) 65-1301

2学期がスタートし、子どもたちの元気な声が学校に響いていることと思います。今回は7月・8月のESD推進事業の様子や各学校の取組状況をお知らせいたします。

## 地域とともに 「防災学習」



新居浜市内の小中学校では、防災訓練や防災学習を地域の方とともに行う学校が多くなってきました。今回は泉川中学校の取組を紹介します。

平成29年7月9日(日)、泉川中学校で「防災学習」が実施されました。煙体験や防災倉庫の中を確認したり、AED講習や段ボールベッドを実際に作成したりしました。県に一台しかない起震車も登場し、地震の揺れを体感するなど、大変有意義な学習となりました。

3年生生徒の感想です。「『支えてもらう』という立場だけでなく『支える』という立場にもなっていかなければならないのだと感じることができる素晴らしい体験でした。これをこれから、忘れずに活かしていきたいです。」地域に生きる一員としての自覚が芽生えている感想だと思います。

泉川中学校は今年度、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)としての取組を開始しました。4月には泉川小・中学校が合同で防災遠足も実施しました。このような取組をとおして、「災害時には自分ができることで地域に貢献したい。」と考える児童生徒が育成されています。



AED講習



起震車体験

## コンソーシアム主催 「ESDロビー展」

平成29年7月10日～8月4日の間、東予信用金庫中萩支店のロビーにて中萩小学校のESD活動パネル展が開催されました。中萩小学校は「伝えよう!地域のよさを」のESDテーマのもと、地域の文化や環境、防災に関する学習を通して、地域の人々とのつながりの大切さを学んでいます。そして、学んだことを地域や家庭に向けて発信する力の育成に努めています。今回、東予信用金庫様には、26日間もの間、地域の方に中萩小学校の活動を知っていただくよい機会をご提供いただき感謝いたします。このようにESD推進事業においては、コンソーシアム(事業の推進のための連合体)と連携を図り、学校の取組をコンソーシアムとの協力において、地域に発信していくことも大切な活動の一つと考えています。



支店ロビーでのパネル展示の様子



支店入口での案内掲示

## 第2回ESDワーキンググループ会議

- 1 日 時 平成29年8月4日（金）9：30～16：00
- 2 場 所 新居浜市役所5階 大会議室
- 3 講 師 鳴門教育大学大学院 特命教授 近森 憲助 氏  
えひめグローバルネットワーク代表 竹内 よし子氏
- 4 主な研修内容



ワークショップの様子

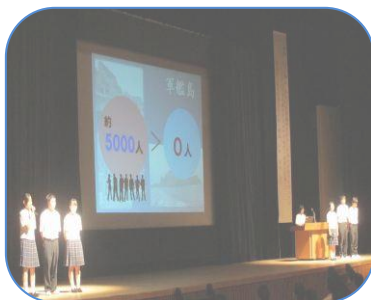
- まず、昨年度末、文部科学省において発表した本市のESD推進状況のプレゼン資料を用いて、ワーキンググループ班員と情報共有を図りました。続いて竹内さんよりSDGsの17のゴールについて詳しい解説があったり、授業につかえそうな動画の紹介をさせていただいたりしました。午後からは、近森先生によるワークショップ「ユネスコスクールとしての活動をスムーズに進めるための行動を考える」を行いました。市内の教職員対象のアンケート調査によるコメントの中からESDに対する不安や困惑に関する記述を選び、それらを解消する方策や行動について考えるという内容で、活発な議論をしながら研修を深めました。

## 平成29年度ESD講演会

- 1 日 時 平成29年8月10日（木）9：30～12：00
- 2 場 所 新居浜市市民文化センター 大ホール
- 3 講 師 愛媛県立新居浜南高等学校 教諭 河野 義知 氏  
愛媛県立新居浜南高等学校 ユネスコ部員さん  
鳴門教育大学大学院 特命教授 近森 憲助 氏
- 4 主な研修内容



- 講演会前半は、「別子銅山 近代化産業遺産を活かしたあかがねプロジェクト～ESD『学びの絆サイクル』の充実・発展を目指して～」をテーマに河野先生にお話しをさせていただきました。四国初のユネスコスクールとして、銅山の近代化産業遺産を活かしたESDの推進に長年取り組んできた河野先生とユネスコ部の優れた実践を市内の小中学校教職員が詳しく知るよい機会となりました。学びの絆サイクルを通して「シビックプライド」を醸成することの素晴らしさを先生のお話と高校生の姿から感じとることができました。また、ESDの推進により、生徒や学校がよりよく変化したことが具体的にわかりました。
- 後半は、ユネスコ部員さんによる事例発表でした。自分たちの実践をわかりやすく伝えるために発表方法に工夫を凝らして、堂々と発表してくれました。高校生の視点で新居浜市の課題に真剣に向き合い、地域に誇りをもって主体的に学習を進めている姿に大変感銘を受けました。小・中学校時代の教え子が立派に成長している姿に涙する先生も見られました。



ユネスコ部員さんの事例発表より



南高等学校の発表資料より

### ESDの意を通して見ること

- 方向が明確になる
- ヒントが得られる
- 評価の基準が分かる
- 共有しやすくなる
- つながりひろがる

